

報道関係者各位

2020年12月18日



横浜美術館コレクション展

ヨコハマ・ポリフォニー：
1910年代から60年代の横浜と美術

2020年11月14日(土)～2021年2月28日(日)

石渡江逸《横浜萬国橋》(部分)1931(昭和6)年
多色木版 36.5×24.2cm

ご自宅で作品を楽しもう！ オンライントーク(作品紹介映像配信)のご案内

現在開催中の横浜美術館コレクション展「ヨコハマ・ポリフォニー：1910年代から60年代の横浜と美術」(～2021年2月28日[日])では、関連プログラムとして映像による「オンライントーク」3本の配信を開始しました。

「オンライントーク」は、さまざまな切り口で出品作品の見どころや楽しみ方をご紹介するシリーズ映像です。鑑賞をより豊かで多様なものとするを目的に横浜美術館のエducator(教育普及担当)が制作を行いました。作品解説をはじめ制作技法やモチーフになった場所からも作品の魅力に迫ります。ご来館の前後やさまざまな理由で美術館へいらっしゃることのできない方にも、ご自宅などで当館のコレクションに親しんでいただけます。

横浜美術館は、大規模改修工事のため2021年2月28日(日)をもって休館し、2023年度中の再オープンを目指します。休館前最後の展覧会となる本展を、「オンライントーク」とあわせてお楽しみください。

▶「オンライントーク」詳細はこちら

<https://yokohama.art.museum/exhibition/index/20201114-568.html>

①林敬二氏 自作を語る



特集展示の出品作家である画家・林敬二氏が、生まれ育った横浜の地や川村信雄画塾と東京藝術大学での思い出、画家としての信念や出品作「漾々・アイボリーブラック」シリーズについて語ります。

林敬二《漾々・アイボリーブラック IV》
1994年 テンペラ、帆布 200.0×257.0cm
横浜美術館蔵
©Keiji Hayashi



林敬二：

1933年横浜市生まれ。1954年に東京藝術大学美術学部油画科に入学し、在学中に独立美術協会に活躍の場を得る。東京藝大の助手をつとめたのち、1964-67年にイタリアへ留学し、テンペラ技法を学ぶ。第57回（平成20年度）横浜文化賞受賞。

②長谷川潔の作品と技法



日本を代表する銅版画家・長谷川潔（1891-1980）の作品《アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船》（1930年制作）を中心に、作品で使われているメゾチント（マニエール・ノワール）などの技法を実演を交えてお伝えします。

長谷川潔《アレキサンドル三世橋とフランスの飛行船》
1930年 メゾチント 16.8×30.1cm
横浜美術館蔵

③奥村泰宏と横浜



横浜で生まれ育った写真家・奥村泰宏（1914-1995）による、戦後の横浜の姿を捉えた写真数点から、現在にもつながる横浜の街の歴史を紐解くとともに、奥村独自の視点に注目します。

奥村泰宏《カストリ横浜》
1949年（1988年プリント）
ゼラチン・シルバー・プリント 40.1×49.8cm
横浜美術館蔵

神奈川文化プログラム



※この動画は、神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金を受けて制作しました。

横浜美術館コレクション展「ヨコハマ・ポリフォニー：1910年代から60年代の横浜と美術」

会 期：2020年11月14日（土）～2021年2月28日（日）

会 場：横浜美術館（横浜市西区みなとみらい3-4-1）

開館時間：10時～18時 *入館は17時30分まで

休 館 日：木曜日（2021年2月11日を除く）

2020年12月29日（火）～2021年1月3日（日）、2月12日（金）

観 覧 料：一般500円ほか *日時指定予約制

主 催：横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

展覧会公式サイト：<https://yokohama.art.museum/exhibition/index/20201114-568.html>

【プレスリリースお問合せ】

横浜美術館 広報担当（藤井、山本、梅澤）

Tel. 045-221-0319 Fax. 045-221-0317 Email: pr-yma@yaf.or.jp